

製作/ユーロスペース+映画美学校
共同製作/日本スカイウェイ
プロデューサー/堀越謙三・松田広子
ライン・プロデューサー/西村和明

撮影・照明/鈴木一博

録音/臼井勝

美術/磯見俊裕・三ツ松けいこ・露木恵美子

編集/筒井武文

音楽/岸野雄一

劇中挿入曲「史上最大の作戦」ポール・アンカ(シンコーミュージック)

出演=鈴木雄作/水野真吾/芳賀優里亜/鈴木優也/安藤 奏
能登絵梨菜/小貫華子/魚路達也/魚路和也/小野正詩/清水京太郎
堀ひろこ/松本きょうじ/中村久美/津田寛治/木下ほうか/若菜江里

1999/カラー/75分/ビスタサイズ

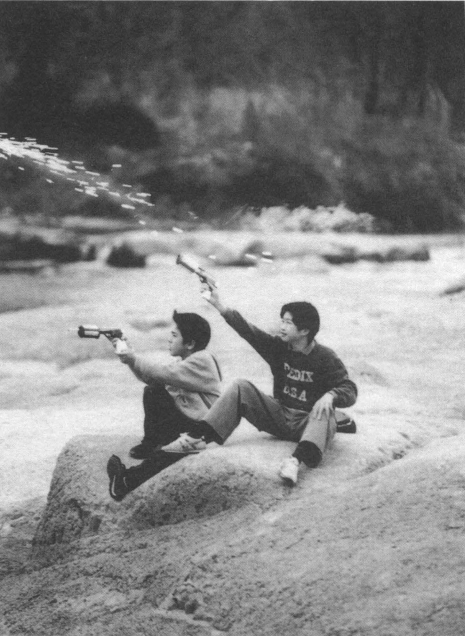


どごまも いごら

塩田明彦監督作品

自分が自分になる季節

Don't Look Back



1999年・カラー・35ミリ・75分・ビスタサイズ
 製作・配給=ユーロスペース・映画美学校
 監督・脚本=塩田明彦
 撮影=鈴木一博 録音=白井勝 美術=磯見俊裕
 音楽=岸野雄一 編集=筒井武文 宣伝=ビターズ・エンド

10歳の春、自分が自分になる季節

監督:塩田明彦

どこまでもいこう



ディテールに
 こだわった
 映像のリアリティ

舞台は郊外のニュータウン。自分自身、団地で育った監督の体験も盛り込みながら、独特の団地空間を生かしたロケーションはこの作品の魅力のひとつ。向かいの棟に住む誰かにほのかな想いを抱いたことのある人は、自分の部屋と彼女(あるいは彼)のベランダとの距離感も思い出すにちがいない。クラス替えや席替えを発表する掲示、体操服を入れる巾着袋、掃除のモップ、学級新聞……など、小学生時代を過ぎたひとなら、その当時がリアルに脳裏によみがえるきっかけや、

花火銃や、仕掛けつきの紙飛行機といった少年の日の宝物もそこらじゅうに散らばっている。そのころの自分は何と葛藤していたのか、何が嫌いで何が好きだったのか。そして、いまの自分は……。『どこまでもいこう』は、そんな自分の原点を見つめなおす手がかりでもある。

実力派映画作家、
 塩田監督の劇場公開映画第2作

8ミリ映画時代を経て、脚本家、撮影監督としては、すでに知られている塩田監督、この『どこまでもいこう』は劇場公開映画の2作目で、かねてから一度は扱いたいと思っていた「子ども」というモチーフに挑戦している。

長篇第一作『月光の囁き』では高校生の歪んだ関係を狂おしい恋物語として表現した、塩田明彦監督の原点を、発見できるかもしれない。撮影・照明には「アベックモンマリ」「富江」の鈴木一博。録音に、「トパーズ」「地獄の警備員」の白井勝。美術には「白痴」「ユメノ銀河」の磯見俊裕、音楽に「ドレミファ娘の血は騒ぐ」の岸野雄一。また、映画美学校の学生がスタッフとして参加している。

劇中で子どもたちが、歌ったり、演奏したりする音楽は映画『史上最大の作戦』(ポール・アンカ作曲)。たたかう男たちのテーマ曲である。

ものがたり

郊外のニュータウン。同じ団地に住むアキラと光一は、いつものように連れだって小学校に向かう。途中、おきまりのいたずらを一発、軽くこなしながら。今日は5年生の新学期が始まる日だ。学校ではクラス替えが発表されている。体育教師に予告されたとおり、ふたりは別々のクラスになってしまった。「関係ねえよ!」。友情は永遠につづくと思っていたふたりだが……。



1月22日(土)から2月4日(金)までモーニングショー!

連日AM11:10より1回上映

2月5日(土)から2月11日(金)までロードショー!

11:30 1:00 2:30 4:00 5:30 7:00

塩田明彦監督作品『月光の囁き』

1月22日から2月4日までロードショー上映!



当日一般=1700円/当日学生=1400円

ホワイトテイル梅田泉の広場M-10右上がる東へ5分

畷町ミュージアムスクエア

☎06・6361・0088 www.oms.gr.jp